

## ばばこうへい議員（共産党・京都市伏見区）

10月3日

日本共産党の馬場こうへいです。会派を代表して、ただいま議題となっております議案9件のうち、第4号議案「建築基準法施行条例及び京都府福祉のまちづくり条例一部改正の件」に反対し、他の議案に賛成の立場で討論を行います。

第4号議案は、国や府、宇治市といった建築主事を有する公共団体については、建築基準法施行条例に基づき、京都府福祉のまちづくり条例の対象となる不特定多数の方が利用する一定規模以上の公共施設の建設などについて、条例の基準に適合しているかどうかなどの審査や検査は、建築主事で行わなければならないとされてきたものを、民間の「指定確認検査機関」でもできるように変更しようとするものです。

そもそも建築主事による建築確認審査などは、建物の安全への公の責任を担保するものでした。しかし国が、1998年に建築確認審査を民間機関に開放して以降、民間機関による建築確認が急増し、大手ゼネコンなどが出資する民間の指定確認検査機関が安さと速さを競い合う中で審査の形骸化が進み、そうした中でおこったのが2005年の耐震偽装事件です。

今回の条例改正により、公立学校や公立病院、公共庁舎などの公共施設が福祉のまちづくり条例の基準に見合っているかどうかの審査や確認まで民間に門戸を開くことは、公共施設の安心安全への公の責任を後退させるものであり、反対です。

なお、第1号議案「令和6年度京都府一般会計補正予算（第2号）」については、賛成するものですが、この際いくつか指摘をしておきます。

暮らしなどへの対策が出てこない一方で、6月議会に続いて、大阪・関西万博に向けた準備としてイベントなどの予算が、債務負担行為も含めて約1.9億円も含まれています。お茶の振興や小中高生の文化発表などのように必要な事業まで、大阪・関西万博の準備とすることで、万博以降はどうするのかが見通せないなど、本来行政の役割として求められるものとは、かけ離れています。

さらに問題なのは、植物園アートナイトウォーク事業費です。植物園の在り方について、有識者懇話会が重ねられ、賑わい創出やイベント活用スペース、バックヤードを削るなどはダメだとして北山エリア開発の計画が見直されてきました。ところが、関西万博にかこつけて賑わい創出や呼び込み型のこうしたイベントが出てくるのは、極めて問題です。しかも、生きた植物の博物館として100周年を迎えた府立植物園の持つ価値や役割を充実させるための必要な専門職員の確保、体制の強化、植物栽培に関わる必要な予算、日常的な施設整備予算などは、なかなか増えない。これでは、本末転倒だといわなければなりません。

原材料高騰の一方で、価格転嫁が進まず、そこにコロナ融資の返済が追い打ちをかける厳しい実態がある中小事業者へ、事業継続のための思い切った支援が必要です。予算化された「生産性向上・人手不足対策事業費」については、必要なすべての中小事業者が利用できるよう、柔軟な運用となるよう求めておきます。また、厳しい現場の実態の中で「生産性向上」が要件とされていることは、引き続き課題だと指摘しておきます。

そもそも、今議会は異常な物価高、コメ不足、賃上げ対策など、深刻な実態への対策が問われる議会でした。国がどの問題でも十分な対策を示さない中で、本来本府がその役割を果たさなければいけないはずですが、その点では、カメムシによる農業被害への支援について、農薬や肥料の購入経費への補助など、わが党議員団も現地の方々と一緒に求めてきた中身が一部既決予算から実施されたことは、現場で大変喜ばれています。周知を急ぐとともに、利用の促進のためにご努力いただくよう求めておきます。ただ、こうした前向きな点はあるものの、物価高、コメ不足、

賃上げなど、目の前の府民生活や地域経済の厳しい実態への求められる対策は全く見られません。改めて、国が背を向ける中で、府民のいのち・暮らしや地域経済を守るために求められる対策を早急に実施されるよう強く求めておきます。

最後に、議長のお許しを得て一言申し上げます。新しい首相が誕生しましたが、首相就任に先立って今月 9 日に国会を解散し、総選挙を行うことを表明されました。早期解散について首相自らが総裁選挙では「党利党略」と批判し、「国民が判断できる材料を提供することは政府の責任」として予算委員会の実施に言及していたにもかかわらず、手のひらを返して解散に突き進む姿勢は、裏金づくり問題や統一協会との組織的癒着の問題をはじめとした政治への怒りと不信、能登半島豪雨への対策、コメ不足や物価高への対策など、国民の声に背を向けるものです。わが党は、金権腐敗政治の根絶、北陸新幹線延伸の中止など、国民のいのち暮らしを守る政治の実現のために、多くの皆さんと力を尽くすことを表明し、討論を終わります。ご清聴ありがとうございました。